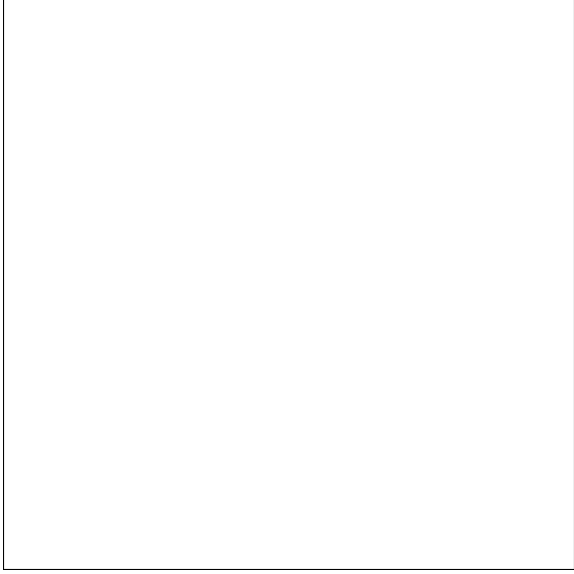




(utan bilder)

✎ Ursula Nafula
👤 Vusi Malindi
📄 Naoko Tanaka
💬 japanska
📊 nivå 2



決意



Sagor för barn på svenska

berattelser.se

決意

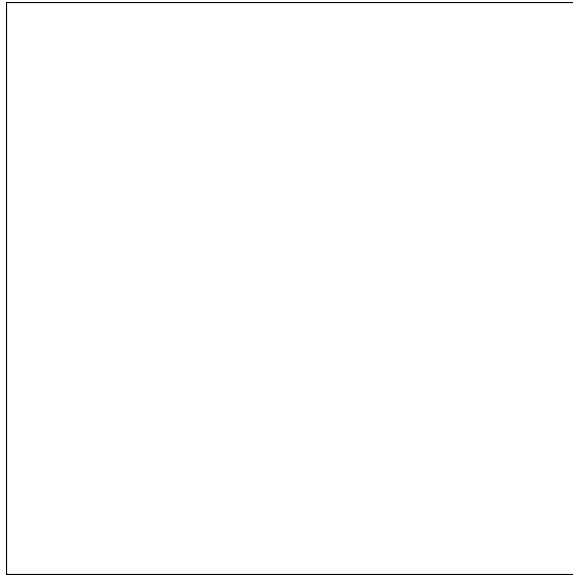
Skriven av: Ursula Nafula
Illustrerad av: Vusi Malindi
Översatt av: Naoko Tanaka

Denna saga kommer från African Storybook (africanstorybook.org) och vidarebefordras av Sagor för barn på svenska (<https://berattelser.se/>), som erbjuder sagor på många språk som talas i Sverige.

Detta verk är licensierat under en Creative Commons

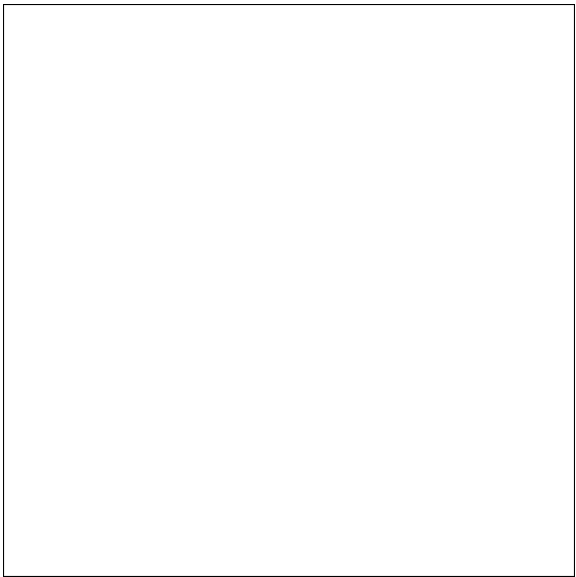
[Erkännande 4.0 Internasjonal Licens](https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.sv).

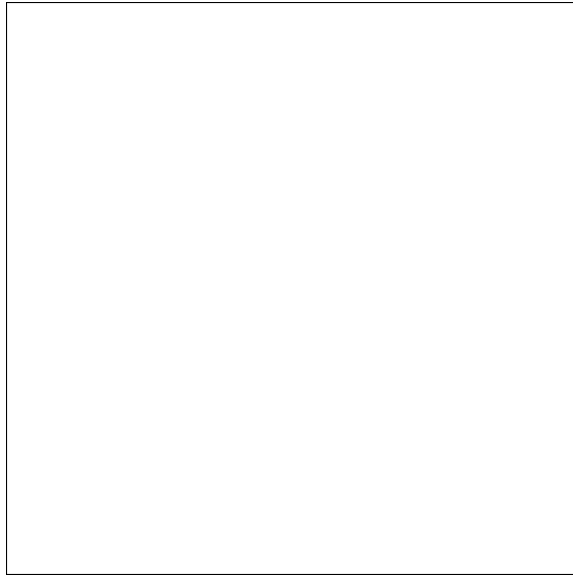
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.sv>



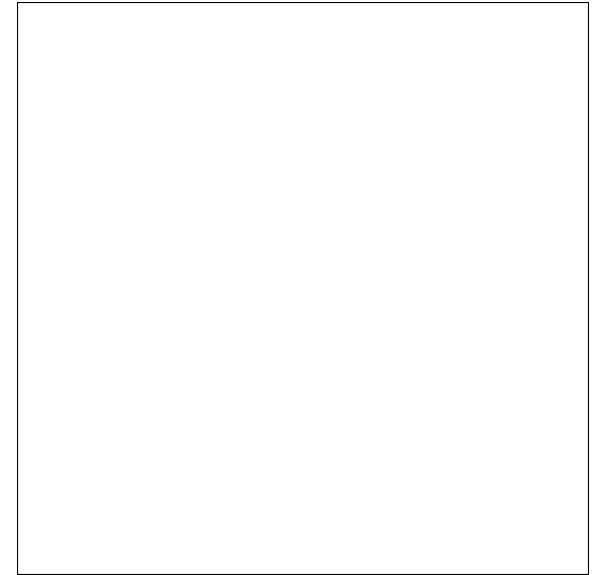
私の村はたくさんのかかえていました。私たちは一つの蛇口から水を汲んでくるのに長い列をつくっていました。

私たちは他人が寄付してくれる食べ物
を待っています。



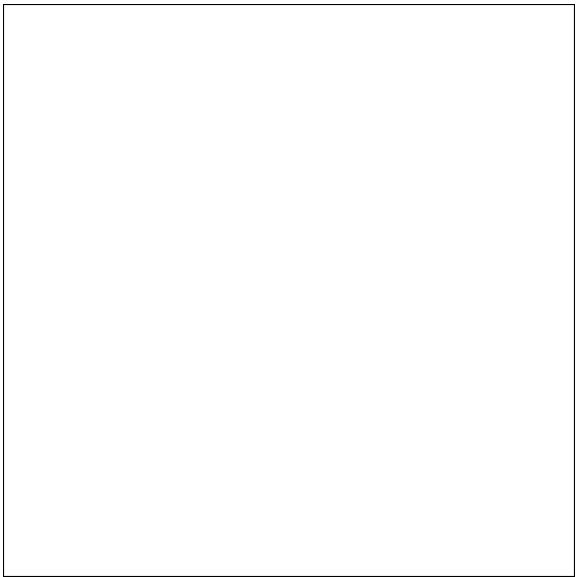


私たちは泥棒のために早くに家の戸締りをしていました。

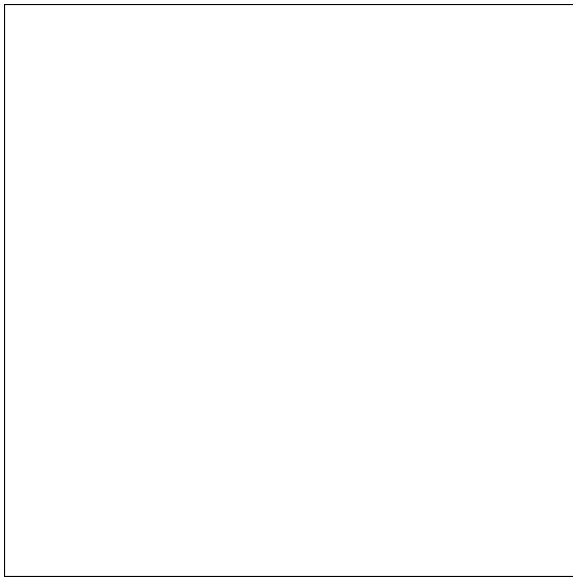


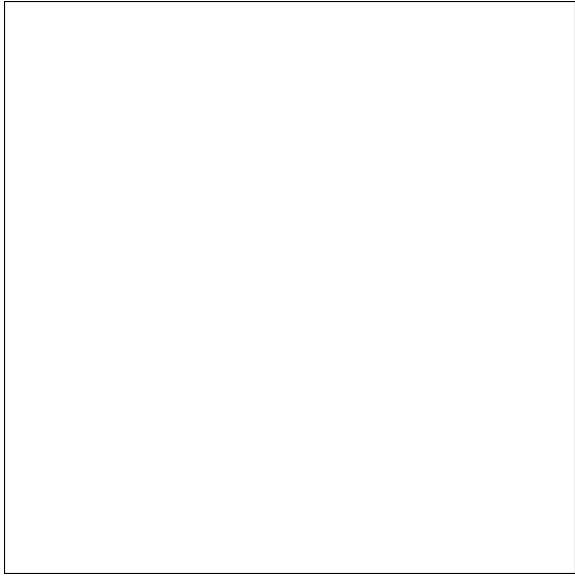
私たち全員が声をそろえて「私たちは生活を変えなければならないのだ」と叫びました。その日から私たちは問題を解決するために、みんなでもとに取り組むようになったのです。

たくさんの子どもたちは途中で学校をやめてしまいました。



もう一人の男性が立ち上がって「男たちは井戸を掘ろう」と言いました。

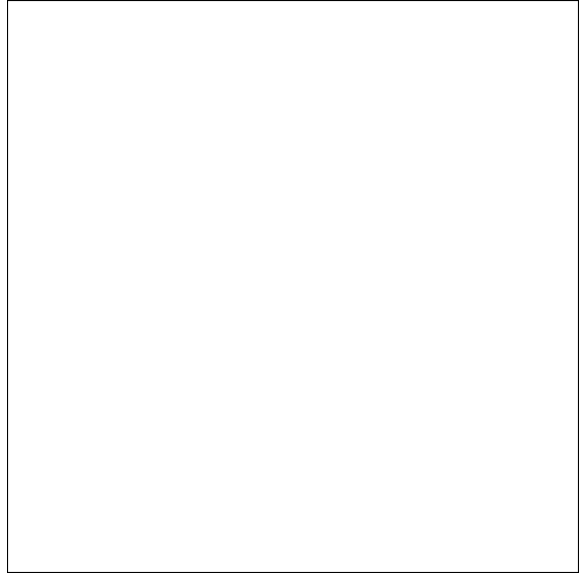




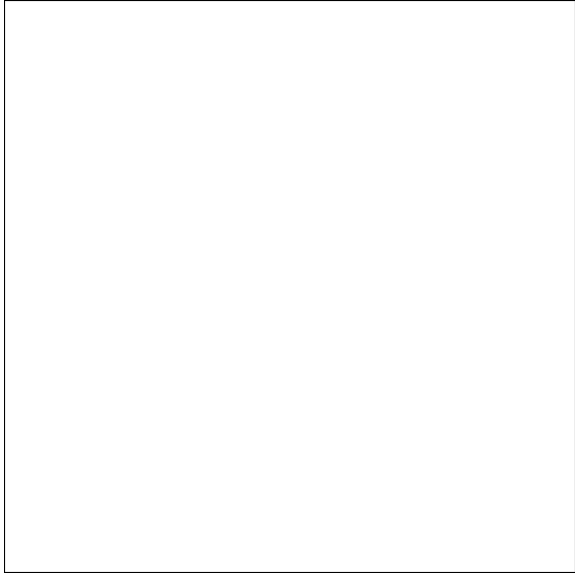
少女たちは他の村でメイドとして働いていました。



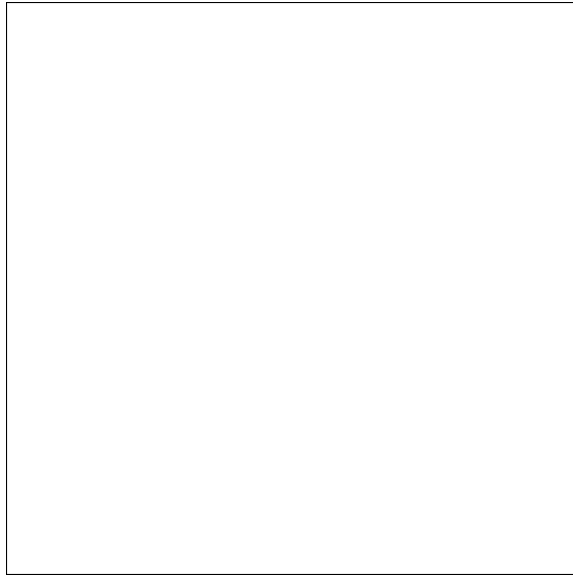
一人の女性が「女たちは私と食物の栽培を一緒にしましょう」と言いました。



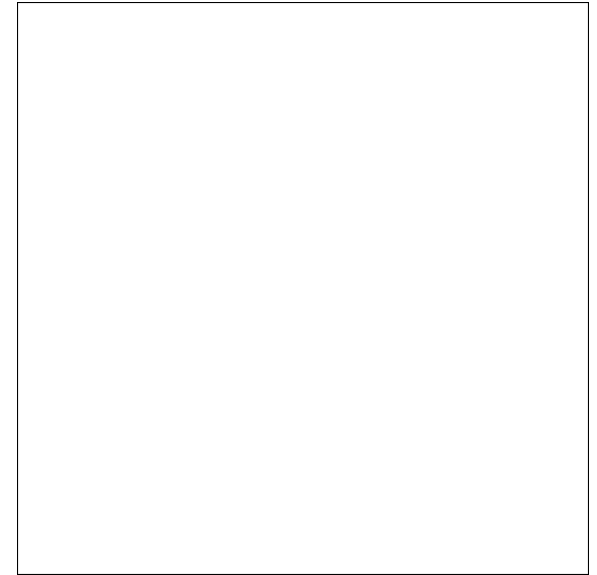
少年たちは他の人たちが農場で働く間、村中をぶらついていました。



木の幹に座っていた8歳のジユアは「僕、お掃除手伝えるよ」と叫びました。

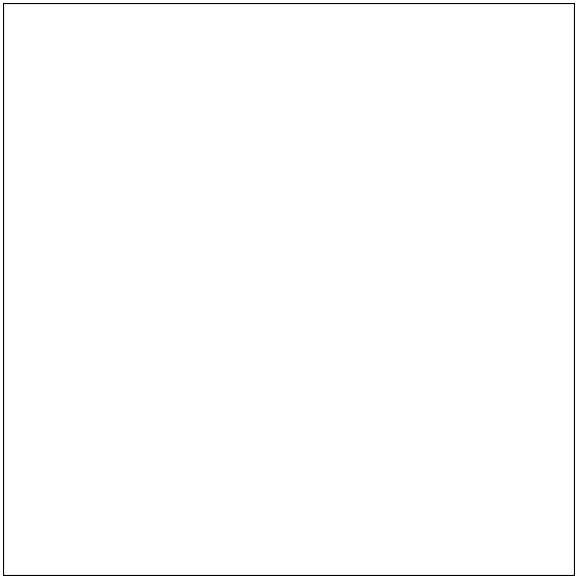


風が吹くと、ぼろ紙くずが木々やフェンスに引っかかっていた。

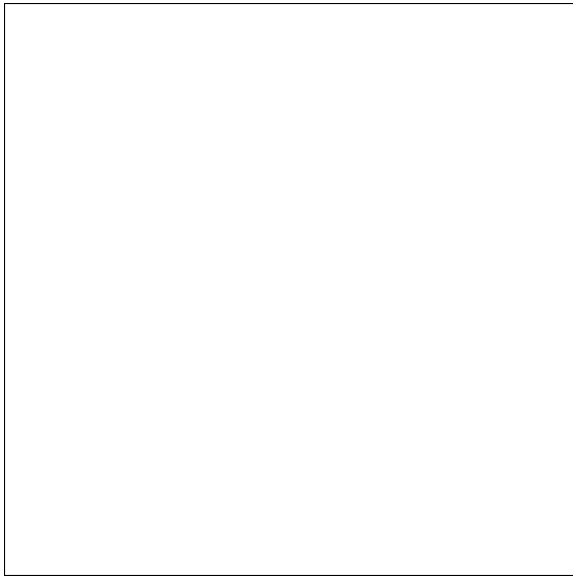


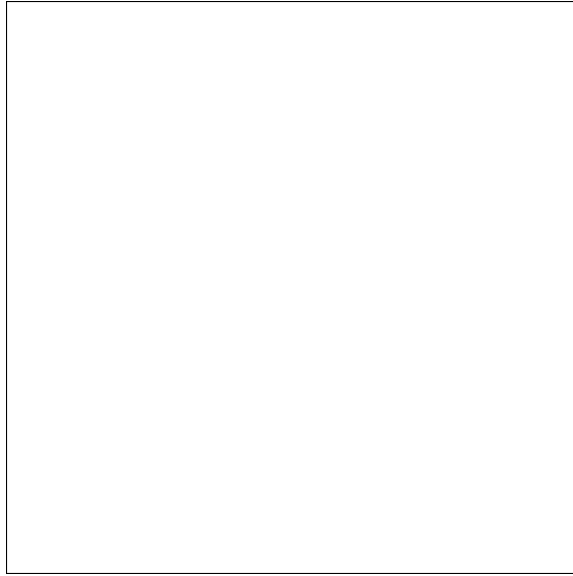
私のお父さんは立ち上がって「我々の問題を解決するために協力し合う必要があります」と言いました。

人々はそんなに簡単に捨てられた割れガラスで切り傷ができました。

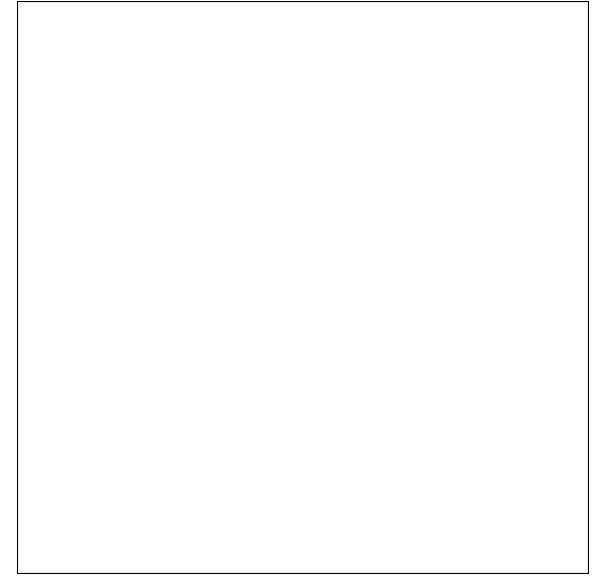


人々は大きな木の下に集まり聞き入りました。





そしてある日、蛇口が干上がり私たちの水入れは空っぽになってしまいました。



私のお父さんは村の会議に出席するよう人々に頼みながら、家から家へと歩きました。